

花と木の実践養成教室

令和3年3月9日（火）

バラの接ぎ木

植物の繁殖方法は、大きく分けると二つになります。
一つは、種子を蒔いて殖やす方法で種子繁殖（実生）といい、有性繁殖ともいいます。

もう一つは、挿し木や接ぎ木などの方法によるもので、栄養繁殖または、無性繁殖と呼んでいます。

接ぎ木は、野菜・盆栽・果樹の分野で幅広く行われています。
二つの固体を合わせて、後の生育や樹形を整え、開花・結実を早め、病害虫への抵抗力を与えます。

バラの接ぎ木の適期は、1月下旬～2月下旬の休眠期に行うのが理想ですが、2月までの実践養成教室が中止になったので、今回は接ぎ木の手法を勉強します。



切り接ぎ方法

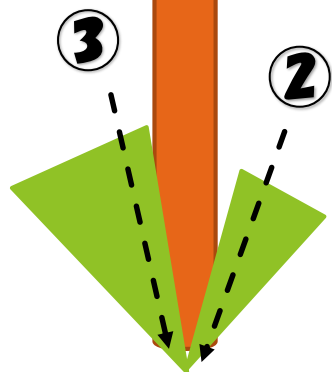
樹皮の内側にある
形成層が出る所ま
で切り込みます。

1.0~1.5cm

台 木

①・②・③の
順番で切ります。

① --- 2芽残す



接ぎ穂

③の切り口の
形成層が大切。

台木と接ぎ穂の
形成層を合わせる。

台 木

台木の切り方



切り込みやすくなるように角をカットします

縦に切り込みます

接ぎ穂の切り方



斜め45度位にカットします



形成層を合わす方を薄くカットします

接ぎ木テープを巻きます



60℃位の接ぎロウにさっと浸けて完成です！



接ぎ木が完了しました。水をたっぷり与えて、
2ヶ月位ビニールハウスの中で管理します。
※昨年実施した接ぎ木苗です。

